

発表テーマ 概要(発表順)

施設名		テーマ概要
駒込病院	都立	<p>しっかりマネジメント！免疫チェックポイント阻害薬</p> <p>世界的に注目されているオプジーボに代表されるがん免疫療法は医療者、患者共に正しい知識を身につける必要がある。院内での知識の普及を目指し説明ツールの作成・改良を行った。その結果、医療者・患者からわかりやすく安心できるという声が聞かれた。今後は院全体・都立病院はじめ地域に広げていく。</p>
神経病院	都立	<p>認定看護師が伝える介護の豆知識</p> <p>看護師は、退院後の生活を見通し退院支援を行っているが、経験の違いにより、患者・家族に提供することができる情報に差が生じている。そこで、当院に在籍している認定看護師が、専門的知識を豆知識として、患者・家族に情報提供することで、患者サービスの向上に取り組んだ。</p>
松沢病院	都立	<p>肥満を解消して健康な体づくりを目指す</p> <p>毎日の過剰な間食によって、患者は肥満傾向であった。医師、栄養士など多職種との協働で栄養指導を行い、健康への意識付けを行った。また、間食の注文方法の工夫や運動を取り入れた結果、肥満が改善した。取組を継続させ、退院後も健康を維持できるような生活習慣の確立を目指していく。</p>
大久保病院	公社	<p>外国人患者受入れ対策 ～リハビリ編～</p> <p>2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、当院では2018年7月に「外国人受入れ医療機関」の認定を目指している。リハビリ科でもこれに向けて、通訳を介することなく、外国人患者とコミュニケーションをとり、リハビリを理解してもらえよう、独自に理学療法ビデオを作成した。</p>
東京都がん検診センター	公社	<p>さらなる患者サービスができるよう安心・安全な採血室環境への改善</p> <p>採血室では、採血時の神経迷走反射による受診者の意識消失等への確実な対応が責務である。転倒時に怪我をしない室内レイアウトへの変更、寝台車や車椅子が安全に入れるように間口を広げる対策、検査に関する説明や採血室までの案内表示の改善なども合わせて行い、採血室環境の改善を実施した。</p>
東大和療育センター	福保	<p>ベッド柵上げ忘れを防ぐ ～対策と用具の開発～</p> <p>ベッドで過ごす利用者が安全に安心して日常生活を送ることができるよう、転落事故防止策を講じてきたが、ベッド柵の上げ忘れによるインシデントをゼロにできていない。今回、ヒューマンエラーの要因を排除し、「ベッド柵の上げ忘れ」を物理的に防ぐことのできる方策を新たに考案し実践した。</p>
広尾病院	都立	<p>追加依頼と結果参照の負担軽減～従来ルールを見直してみました！！～</p> <p>外来診療では、追加検査が必要になることがしばしばある。今回、個人情報紛失予防と外来診療中の医師等の業務負担軽減を目的として活動を行った。その結果ラベル搬送が不要となり、当初の目的に加え検査開始までの時間短縮効果も得られた。今後は更に手順の周知、医事会計との連携活動を推進していく。</p>
多摩総合医療センター	都立	<p>みんなにやさしいお薬窓口 ～タブレットの活用～</p> <p>お薬お渡し窓口は、薬剤科の中で最も患者の目につく場所である。そこで窓口周辺を整理整頓することで、プライバシー保護の徹底を実現した。また、窓口業務にタブレット端末を導入し、薬剤師全員が、一定の質を保った服薬説明を行えるツール作成に取り組んだ。</p>
北療育医療センター	福保	<p>お家では何を食べていますか？摂食嚥下機能評価一元化に向けたツール作り</p> <p>多職種による障害者のための食事評価ツールの作成は、利用者のほとんどが食形態の変更を伴う特別食である当院ならではのテーマで、段階的な食形態を写真で表し、硬さやとろみまで見てとれる工夫など、現場のアイデアが詰まり、実地の指導や情報の共有に役立つ有用性と独創性の高い取組である。</p>

施設名		テーマ概要
豊島病院	公社	<p>検査における診療報酬請求の算定要件を把握して経費削減～いったい、いくら削減できると思ってんの？～</p> <p>診療報酬制度に応じた検査の実施は、検査経費の削減と検査時間の短縮が期待できる。今回、検査科と医事課が協働で、診療報酬制度に関する勉強会の開催や算定できない検査の分析を行い、お知らせの作成など院内へ情報発信を行った。今後も継続して取り組み、効率的な医療の提供に貢献していく。</p>
府中療育センター	福保	<p>たかがスポンジ、されどスポンジ～調理器具洗浄用具の衛生管理に関する検討～</p> <p>安全・安心な食事を提供し続けるためには、徹底した厨房内の衛生管理が大切である。今回、調理器具を洗浄する『スポンジ類』に着眼し、微生物汚染の実態検証・要因解明、衛生管理マニュアルの見直しによる衛生管理業務の改善を行い、更なる衛生管理の向上に取り組んだ。</p>
東部地域病院	公社	<p>XELOX療法を初めとした保険薬局との患者指導連携について</p> <p>多様化する外来癌化学療法の安全安心な実施のため保険薬局との連携を図り、情報共有文書の運用を開始した。一方的な情報提供のみならずフィードバックを受ける体制を整え、患者把握や薬剤の削減等に繋げることができた。今後もさらなる連携をすすめ、地域で患者をケアできるよう活動していきたい。</p>
荏原病院	公社	<p>病院からつなげよう！地域連携における経口摂取支援の輪～地域の栄養士と手と手をつなぐ～</p> <p>近年、未曾有の超高齢化社会を迎え、病院から在宅医療に変化しようとしている。高齢者は嚥下機能に対応した食事と支援が必要であるが、退院後の栄養・食事面の地域支援は十分ではない。そこで、地域の栄養士同士と連携し医療と福祉、在宅の壁を越えた経口摂取支援体制を構築し成果を得たので報告する。</p>
大塚病院	都立	<p>防災意識を高めて減災対策</p> <p>震災の誘因である地震の発生を止めることはできないが、地震が発生した時に何が起きるかを予め知ることができれば、災害を軽減する備えを進めることができる。我々の住んでいる地域が地震による強い揺れに見舞われる可能性を正しく理解し、「防災意識を高める活動」を行い「減災対策」に取り組んだ。</p>
墨東病院	都立	<p>チームでお届け栄養指導</p> <p>胃切除後患者の食事療法継続を支援するため、多職種で術後早期の栄養食事指導の導入と、分食レシピ集の作成に取り組んだ。患者は早期から食べ方に留意し、レシピ集を活用した食事療法の継続に意欲的であった。指導はクリニカルパスで標準化し、レシピ集は一般公開して、より多くの患者支援を目指す。</p>
多摩北部医療センター	公社	<p>知ってる～？薬を飲みやすくする方法</p> <p>薬剤師による病棟常駐業務の開始以降、看護師からの問い合わせが多く寄せられている。特に小児科病棟では拒薬に関する相談が多い。そこで、薬を飲みやすくする方法の検討会を実施した。その結果、実際の薬の味の確認や飲みやすくなる食品の提案によって、拒薬を減らすための情報作りができた。さらに、実際の指導に役立てる等の業務改善にも繋がった。</p>
小児総合医療センター	都立	<p>再撮影率低減の取組～標準化を目指して～</p> <p>小児一般エックス線撮影において、放射線被ばくの低減を目的とし、再撮影率の高い撮影法について、撮影の標準化を行うため、小児に適正な角度と基準線を導き出し、かつ撮影補助具の作成に取り組んだ。結果、再撮影率が減少し被ばく低減と患者待ち時間の軽減に繋がった。</p>
多摩南部地域病院	公社	<p>手術部位消毒液の量の見直し</p> <p>当院の手術部位消毒薬ポビドンヨードについて、接触皮膚炎予防及び経費削減の2つの観点から適正使用量を検討した。その結果、取組期間中の接触皮膚炎発生件数0件と消毒薬・防水ドレープの使用量削減を達成した。今後は手術部位による適正量検討や関連消耗品の使用量削減に取り組んでいく。</p>